

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	アズビル(株)湘南工場 事務棟・生産棟	階数	地上3F
建設地	神奈川県高座郡寒川町大曲4-1-1	構造	S造
用途地域	準工業地域、準防火地域	平均居住人員	450 人
地域区分	6地域	年間使用時間	7,200 時間/年
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年2月 予定	評価の実施日	2017年5月16日
敷地面積	5,249 m ²	作成者	鹿島建設横浜支店一級建築士事務所
建築面積	4,461 m ²	確認日	2017年5月16日
延床面積	12,683 m ²	確認者	鹿島建設横浜支店一級建築士事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.7 ★★★★★★☆☆☆☆

S: ★★★★★★ A: ★★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.4

Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.6

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.6

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 3.1

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.5

LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.8

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.5

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合 工場の一拠点化を目的とした事務生産棟の計画。生産エリアと事務エリアを機能で明確にゾーニングする事で、合理的な平面、断面構成とした。また、生産棟、事務棟ともに将来変更に対応出来るようにコアを片側に寄せ、大空間を実現している。食堂空間、リフレッシュ空間を充実させる事で従業員の働く環境を豊かにすることを目指した。	その他 0	
Q1 室内環境 自然換気を採用し、一定の換気が行えるよう開口部を設置した。また、北側に大きな開口部を設ける事で、一年中、安定した室内の光環境向上を図っている。	Q2 サービス性能 ・生産エリア、事務エリアともに、機能性に配慮し、内・外装とも維持管理を考慮した仕上げ・構成としている。また、そのための設備も適切に設けている。将来の変更・更新にも対応できる平面・断面構成としている。 階高	Q3 室外環境(敷地内) ・屋上緑化を施すなど外構面積の約20%を緑化している。 ・中木の緑地を設け、日陰の形成に努めた。
LR1 エネルギー ・大きな開口部を北側にしぼり、かつ、複層ガラスを利用する事で熱負荷低減を図った。	LR2 資源・マテリアル ・節水型大便器、自動FVを用いている。 ・主要構造躯体に電炉鋼を用いている。 ・壁塗装について、有害物質を含まない材料を利用。 ・躯体と仕上げ材が容易に分別可能となっている。	LR3 敷地外環境 建物内および外構の照明計画にあたり、敷地外へ光害が発生しないよう努めた。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される